



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2016年2月9日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、2月19日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

2015 年度通年に 1 株当たり事業純利益が 見通しに沿って為替調整前 8.5%増(CER ベースで前年度並み)

2020 年戦略的ロードマップの実行

- ポートフォリオ再構築における主なマイルストーンとして、事業交換に関する独占的交渉の発表
- オンコロジー領域と糖尿病領域において重要な研究開発提携
- Praluent[®]の発売を推進し、2016 年に向けて米国で大規模な市場アクセスを確保
- Toujeo[®](ランタス XR)が世界 20 カ国以上で発売され、2015 年度第 4 四半期の売上高は 9,800 万ユーロ

サノフィの革新的医薬品の研究開発ポートフォリオの進展における最近の成果

- 世界初の Deng 熱ワクチンである Dengvaxia[®]がメキシコ、ブラジル、エルサルバドル、フィリピンで承認を取得
- sarilumab の生物学的製剤承認申請(BLA)が、審査に向けて米国食品医薬品局(FDA)に受理される
- 1 日 1 回のインスリンラゲリンとリキシセナチドの合剤について、FDA の優先審査資格を申請

2015 年度に医薬品、ワクチン、動物用医薬品の売上高が成長

- グループ売上高総計⁽²⁾は、2.2%増⁽³⁾(2015 年度の為替レートで 9.7%増)の 370 億 5,700 万ユーロ
- ジェンザイムは、29.5%増の売上高を記録して引き続き成長を牽引、多発性硬化症において強力な勢いを維持
- ワクチンの売上高は、新興市場⁽⁴⁾の 2 桁成長が貢献したことを受けて、7.3%増
- 糖尿病領域の売上高は、米国における Lantus[®](ランタス)の売上高減少を反映し、10 月の見通しに沿って 6.8%減
- 動物用医薬品は、NexGard[®](ネクスガード)に牽引されて売上高 10.8%増、今期も好業績を達成
- 新興市場の売上高総計は、中国の好業績(19.5%増)に牽引され、7.8%増

2015 年度に堅調な財務結果を達成するとともに、新製品の発売に多額の投資を実施

- 1 株当たり事業純利益は、為替調整前 8.5%増(CER ベースで前年度並み)の 5.64 ユーロ
- フリーキャッシュフローは、12.2%増の 81 億 3,200 万ユーロとなり、純負債は 72 億 5,400 万ユーロ
- 取締役会は、22 年連続で増配となる 2.93 ユーロの配当を提案

2016 年度通年の財務見直し

- 重大な予期せぬ要因が発生しない限り、2016 年度通年の 1 株当たり事業純利益⁽¹⁾は CER ベースでほぼ前年度並み⁽⁵⁾と予測します。

サノフィ最高経営責任者(CEO)のオリヴィエ・ブランディケールのコメント:

「2015 年度、サノフィは、主な新製品発売、複数の事業開発活動、組織簡略化に向けた取り組みなどの有意義な進展を達成しました。事業交換に関してベーリンガーインゲルハイム社と独占的交渉を開始したことにより、コンシューマー・ヘルスケア(CHC)分野で主導的地位を獲得できる見込みです。これは当社のポートフォリオ再構築に向けた重要な一歩です。2016 年度も、将来的な成長の加速に向けて、有望な後期開発段階のパイプラインと革新的な医薬品の投入に資源を割り当てる予定です」

	2015 年度 第 4 四半期	前年同期比	前年同期比 (CER)	2015 年度通年	前年同期比	前年同期比 (CER)
グループ売上高総計 ⁽²⁾	€9,278m	+2.3%	-1.6%	€37,057m	+9.7%	+2.2%
事業純利益 ⁽¹⁾	€1,709m	-6.5%	-13.5%	€7,371m	+7.7%	-0.9%
1 株当たり事業純利益 ⁽¹⁾	€1.31	-5.8%	-12.9%	€5.64	+8.5%	0.0%
IFRS 純売上高(為替調整前)	€8,719m	+1.8%	-2.0%	€34,542m	+9.0%	+1.6%
IFRS 純利益(為替調整前)	€334m	-75.1%		€4,287m	-2.3%	
IFRS 1 株当たり純利益(為替調整前)	€0.26	-74.5%		€3.28	-1.8%	

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー

www.sanofi.co.jp

ベリンガーインゲルハイム社との独占的交渉を発表したことに伴い、また廃止事業に関する IFRS 第 5 号発表要件として、サノフィの動物用医薬品事業(メアル)は、2015 年度および前年度の連結損益計算書において、独立項目(「交換するために保留している動物用医薬品事業による純利益」)として報告されます。取引完了までは、同事業は IFRS 第 8 号に沿った事業部門として存続し、サノフィ・グループの重要な業績指標に含まれるため、サノフィが動物用医薬品事業の業績を管理および報告します。

(1)当グループの業績をわかりやすく示すため、事業純利益計算書について説明します。事業純利益は、GAAP(一般会計原則)に調整を加えた財務指標です(定義は付録 10 を参照)。2015 年度第 4 四半期の連結損益計算書については付録 4 に、事業純利益から IFRS 純利益への調整については付録 3 に記載しています。(2)IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、連結損益計算書で単一項目として報告される動物用医薬品事業を含みます(グループ売上高総計の定義については付録 10 を参照)。さらに、「総計」の用語を使用するすべての損益計算書において、サノフィのコメントは動物用医薬品事業を含みます。(3)特に指定のない限り、純売上高および売上高総計の変動率は為替レート変動の影響を除いて(CER)算出(定義は付録 10 を参照)(4)8 ページを参照(5)2015 年度の 1 株当たり事業純利益は 5.64 ユーロ

2015 年度第 4 四半期および通年のグループ売上高総計

特に指定のない限り、当プレスリリースの売上高の変動率は為替レート変動の影響を排除して⁽¹⁾算出しています。

第 4 四半期のグループ売上高総計は、2015 年の為替レートで 2.3%増の 92 億 7,800 万ユーロとなりました。為替レートの変動により、主に対ユーロでの米ドルの上昇がブラジル・リアルおよびロシア・ルーブルのマイナス影響を相殺し、3.9 ポイントのプラス影響を受けました。為替レート変動の影響を排除した場合のグループ売上高総計は、1.6%減でした。これには、10 月 30 日に発表された米国およびカナダでの Auvi-Q®/Allerject®の自主回収の影響が含まれています。売上高に対する回収のマイナス影響は 1 億 2,200 万ユーロであり、これは、主に 2015 年初頭以降の同製品の売上高の取消として処理されています。Auvi-Q®/Allerject®を除くと、グループ売上高総計は、0.3%減(為替レート変動の影響を除く)でした。

2015 年度通年のグループ売上高総計は、2015 年通年の為替レートで 9.7%増の 370 億 5,700 万ユーロでした。グループ売上高総計は、為替レートの変動により 7.5 ポイントの好影響を受け、2.2%増(為替レート変動の影響を除く)となりました。

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 4 四半期	前年同期比 (CER)	2015 年度通年	前年同期比 (CER)
医薬品	7,277	-4.7%	29,799	+0.8%
糖尿病	1,903	-12.6%	7,580	-6.8%
ジェンザイム	1,013	+28.2%	3,664	+29.5%
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	809	+1.0%	3,492	+2.8%
ジェネリック医薬品	467	+4.7%	1,917	+7.6%
オンコロジー製品	381	-7.9%	1,504	-1.9%
エスタブリッシュ処方製品	2,699	-10.4%	11,633	-2.3%
ワクチン	1,442	+15.0%	4,743	+7.3%
動物用医薬品	559	+5.9%	2,515	+10.8%
グループ売上高総計	9,278	-1.6%	37,057	+2.2%

医薬品

2015 年度第 4 四半期における医薬品事業の売上高は、糖尿病領域とエスタブリッシュ処方製品の売上高減少がジェンザイムの業績によって部分的に相殺され、4.7%減の 72 億 7,700 万ユーロとなりました。Auvi-Q®/Allerject®を除くと、医薬品事業の売上高は、3.2%減でした。2015 年度通年における医薬品事業の売上高は、0.8%増の 297 億 9,900 万ユーロとなりました。

糖尿病領域

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 4 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
Lantus®(ランタス)	1,536	-19.9%	6,390	-10.8%
Amaryl®(アマリール)	94	0.0%	393	+1.7%
Apidra®(アピドラ)	104	+3.1%	376	+4.8%
Toujeo®(ランタス XR)	98	-	164	-

⁽¹⁾ 財務指標の定義については、付録 10 をご参照ください。

Insuman®	38	0.0%	141	+2.9%
BGM(血糖測定器)	16	-11.1%	63	-1.6%
Lyxumia®(リキスミア)	11	+25.0%	38	+37.0%
Afrezza®	2	-	7	-
糖尿病領域合計	1,903	-12.6%	7,580	-6.8%

第4四半期における**糖尿病領域**の売上高は、米国で Lantus®(ランタス)の売上高が減少したことを反映し、12.6%減の19億300万ユーロとなりました。2015年度通年における糖尿病領域の売上高は、10月に発表した見通しに沿って6.8%減の75億8,000万ユーロとなりました。

第4四半期における米国での糖尿病領域の売上高は、25.1%減の10億5,600万ユーロでした。米国以外の糖尿病領域の売上高は、新興市場での好業績(15.1%増の4億2,600万ユーロ)に支えられ、7.0%増の8億4,700万ユーロとなりました。西欧諸国での売上高は、グラルギンのバイオシミラー製剤との競合を反映し、1.0%増の3億200万ユーロとなりました。

3月末、次世代の基礎インスリンである Toujeo®(ランタス XR)が米国市場で発売され、その後、他の主要グローバル市場でも発売されました。2015年度第4四半期における同製品の売上高は、2015年度第3四半期の4,600万ユーロに対し、9,800万ユーロでした。米国での Toujeo®(ランタス XR)の売上高は、短期間での幅広い商業およびメディケア市場アクセスに支えられ、処方医によって積極的に採用されたことを反映し、7,900万ユーロとなりました。Toujeo®(ランタス XR)は現在、世界20カ国以上で提供されており、2015年度通年の売上高は、米国以外での売上高2,700万ユーロを含め、1億6,400万ユーロでした。

第4四半期におけるサノフィの**グラルギン製品群**(Lantus®(ランタス)および Toujeo®(ランタス XR))の売上高は、14.9%減の16億3,400万ユーロでした。期中における Lantus®(ランタス)の売上高は、19.9%減の15億3,600万ユーロとなりました。Lantus®(ランタス)の米国での売上高は、予想どおり、前年と比較して更なる値引きが生じたこと、基礎インスリン市場の成長が鈍化したこと、製品の売上構成がメディケイドなどの割引率の高い政府系チャネルで高くなったこと(複数の州でメディケイドの請求遅れに付随した売上の減少分を含む)を反映し、31.6%減の9億3,300万ユーロとなりました。西欧諸国でのサノフィのグラルギン製品群の売上高は、2015年度下半期に複数の欧州市場でグラルギンのバイオシミラー製剤が発売されたことを反映し、0.4%増の2億3,100万ユーロとなりました。第4四半期における新興市場でのサノフィのグラルギン製品群の売上高は、中国、中東、ロシア、トルコでの Lantus®(ランタス)に牽引され、17.2%増の3億400万ユーロとなりました。2015年度通年におけるサノフィのグラルギン製品群の売上高は、8.5%減の65億5,400万ユーロでした。

第4四半期における Amaryl®(アマリール)の売上高は、前年同期並みの9,400万ユーロであり、そのうち7,600万ユーロが新興市場(4.2%増)で計上されました。2015年度通年における Amaryl®(アマリール)の売上高は、1.7%増の3億9,300万ユーロでした。第4四半期における Apidra®(アピドラ)の売上高は、米国での売上高減少(12.2%減の4,200万ユーロ)を反映し、3.1%増の1億400万ユーロとなりました。Apidra®(アピドラ)の新興市場での売上高は、19.0%増の2,400万ユーロでした。2015年度通年における Apidra®(アピドラ)の売上高は、4.8%増の3億7,600万ユーロでした。

Afrezza®の第4四半期の売上高は200万ユーロ、2015年度通年の売上高は700万ユーロでした。2016年1月4日、サノフィは、MannKind社に対し、契約を解除するオプションを行使することを通知しました。この契約解除は、2016年4月4日付で発効します。この対応は契約条件に沿ったものであり、解除の決定は、サノフィの取り組みにもかかわらず Afrezza®の処方レベルが低いままであることなど、さまざまな要因を考慮した上で下されました。サノフィは、MannKind社と協力して円滑な移行に取り組むとともに、ライセンス・提携契約に規定されたとおり、契約解除後、最長で約180日間は米国での Afrezza®の提供を継続します。

Praluent®

2015年9月の欧州での承認を受けて、第4四半期に Praluent®(一般名: alirocumab、Regeneron社と共同開発中)が英国、ドイツ、北欧諸国で発売されました。米国では、Praluent®は7月に発売され、現在、米国の1億7,000万人以上を対象とするフォーミュラーで利用可能となっています。大規模な市場アクセスを達成したことに加え、Praluent®は、UnitedHealth Group フォーミュラー全体で優先されている唯一のPCSK9阻害剤です。Praluent®の第4四半期の世界売上高は500万ユーロ、2015年度通年の世界売上高は900万ユーロでした。

ジェンザイム

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 4 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
Cerezyme®(セレザイム)	180	-9.6%	757	+1.3%
Myozyme®(マイオザイム)/ Lumizyme®	167	+6.7%	650	+12.4%
Fabrazyme®(ファブラザイム)	158	+20.3%	592	+17.2%
Aldurazyme®(アウドラザイム)	49	+6.7%	195	+8.7%
Cerdelga®(サデルガ)	22	-	66	-
希少疾患合計	660	+8.4%	2,550	+11.4%
Aubagio®	272	+69.9%	871	+77.8%
Lemtrada®	81	-	243	-
多発性硬化症合計	353	+99.4%	1,114	+112.2%
ジェンザイム合計	1,013	+28.2%	3,664	+29.5%

第 4 四半期におけるジェンザイムの売上高は、Aubagio®と Lemtrada®の発売の拡大に牽引され、28.2%増の 10 億 1,300 万ユーロとなりました。ジェンザイムは、期中に全地域で好業績を挙げ、米国では 42.1%増の 4 億 8,500 万ユーロ、西欧諸国では 25.3%増の 2 億 9,000 万ユーロとなりました。第 4 四半期における新興市場での同製品の売上高は、9.7%増の 1 億 4,800 万ユーロとなりました。2015 年度通年におけるジェンザイムの売上高は、29.5%増の 36 億 6,400 万ユーロとなりました。第 4 四半期における多発性硬化症治療薬の売上高は、99.4%増の 3 億 5,300 万ユーロでした。2015 年度通年における同製品群の売上高は 112.2%増加し、初めて 10 億ユーロを超える年間売上高を記録しました(11 億 1,400 万ユーロ)。

第 4 四半期における Aubagio®の売上高は、米国(57.4%増の 1 億 9,400 万ユーロ)および西欧諸国(売上高 5,800 万ユーロ)に牽引され、69.9%増の 2 億 7,200 万ユーロとなりました。西欧諸国では、フランスおよび一部の北欧諸国において Aubagio®の市場シェアが 15%を超えました。2015 年度通年における Aubagio®の売上高は、77.8%増の 8 億 7,100 万ユーロとなりました。

第 4 四半期における Lemtrada®の売上高は、8,100 万ユーロであり、そのうち 4,400 万ユーロが米国で、2,800 万ユーロが西欧諸国(主にドイツと英国)で計上されました。2015 年度通年における Lemtrada®の売上高は、前年同期の 3,400 万ユーロに対し、2 億 4,300 万ユーロとなりました。

希少疾患製品の第 4 四半期の売上高は 8.4%増の 6 億 6,000 万ユーロ、2015 年度通年の売上高は 11.4%増の 25 億 5,000 万ユーロでした。

第 4 四半期におけるゴーシェ病製品群の売上高は、ロシア政府の調達が減少したことによる新興市場での Cerezyme®(セレザイム)の売上高減少(14.7%減の 5,900 万ユーロ)を反映し、1.5%減の 2 億 200 万ユーロでした。第 4 四半期における米国でのゴーシェ病製品群の売上高は、Cerezyme®(セレザイム)の売上高が減少した(12.5%減の 4,700 万ユーロ)ものの、ゴーシェ病 1 型患者のための唯一の経口第一選択治療薬である Cerdelga®(サデルガ)の売上高(前年同期の 400 万ユーロに対し、1,900 万ユーロ)によって十分に補われ、11.5%増の 6,600 万ユーロとなりました。西欧諸国では現在、複数の国(ドイツ、フランス、デンマーク、ノルウェー、スウェーデン)で Cerdelga®(サデルガ)が提供されており、ゴーシェ病製品群の西欧諸国での売上高は、3.2%増の 6,400 万ユーロとなりました。2015 年度通年におけるゴーシェ病製品群の売上高は、主に Cerdelga®(サデルガ)による新規患者の増加を反映し、8.6%増の 8 億 2,300 万ユーロとなりました。

第 4 四半期における Fabrazyme®(ファブラザイム)の売上高は、20.3%増の 1 億 5,800 万ユーロとなりました。同製品は、新規患者の獲得を反映し、米国(20.3%増の 8,200 万ユーロ)、西欧諸国(17.2%増の 3,500 万ユーロ)、新興市場(46.7%増の 1,900 万ユーロ)で好業績を挙げました。2015 年度通年における Fabrazyme®(ファブラザイム)の売上高は、17.2%増の 5 億 9,200 万ユーロとなりました。

第 4 四半期における Myozyme®(マイオザイム)/Lumizyme®の売上高は、米国(9.3%増の 5,500 万ユーロ)と新興市場(11.5%増の 2,800 万ユーロ)に牽引され、6.7%増の 1 億 6,700 万ユーロとなりました。西欧諸国における売上高は、前年同期並みの 7,200 万ユーロでした。2015 年度通年における Myozyme®(マイオザイム)/Lumizyme®の売上高は、12.4%増の 6 億 5,000 万ユーロでした。

コンシューマー・ヘルスケア

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 4 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
Allegra [®] (アレグラ)	75	-5.4%	424	+8.0%
Doliprane [®]	83	+6.4%	303	-2.3%
Essentiale [®]	55	+1.6%	196	-6.4%
Enterogermina [®]	35	+5.9%	161	+1.3%
Nasacort [®]	21	-17.4%	122	-8.8%
Lactacyd [®] (ラクタシード)	20	-4.3%	114	+10.6%
Maalox [®]	22	-8.0%	97	+4.1%
No Spa [®]	22	-4.0%	88	-5.5%
Magne B6 [®]	20	+9.1%	82	+9.1%
Dorflex [®]	17	+4.5%	81	+6.7%
その他の CHC 製品	439	+2.1%	1,824	+4.2%
コンシューマー・ヘルスケア合計	809	+1.0%	3,492	+2.8%

第 4 四半期におけるコンシューマー・ヘルスケア (CHC) 製品の売上高は、オーストラリアおよびメキシコでの売上高増加に牽引され、1.0%増の 8 億 900 万ユーロとなりました。期中における CHC 製品の米国での売上高は、Nasacort[®]が 2014 年の発売後の堅調な売上高と比較して減少したことを反映し、0.6%増の 1 億 9,700 万ユーロとなりました。第 4 四半期における CHC 製品の新興市場での売上高は、ベネズエラでの売上高減少によりメキシコでの売上高回復が相殺され、前年同期並みの 3 億 9,200 万ユーロとなりました。第 4 四半期における西欧諸国での売上高は、11 月にフランスで 2 回目となる Doliprane[®]の価格引き下げが行われた影響を受け、前年同期並みの 1 億 5,900 万ユーロとなりました。第 4 四半期における「その他の国」での売上高は、オーストラリアに牽引され、12.5%増の 6,100 万ユーロでした。2015 年度通年における CHC 製品の売上高は、2.8%増の 34 億 9,200 万ユーロとなりました。

ジェネリック医薬品

第 4 四半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、西欧諸国の売上高 (9.8%増の 1 億 5,000 万ユーロ) と、米国での Lovenox[®]および日本での Plavix[®](プラビックス)のオーソライズドジェネリック医薬品の売上高に牽引され、4.7%増の 4 億 6,700 万ユーロとなりました。第 4 四半期における新興市場でのジェネリック医薬品の売上高は、ブラジルでの売上高減少を反映し、1.0%減の 2 億 5,800 万ユーロとなりました。2015 年度通年におけるジェネリック医薬品の売上高は、7.6%増の 19 億 1,700 万ユーロとなりました。

オンコロジー製品

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 4 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
Jevtana [®] (ジェブタナ)	84	+8.1%	321	+9.5%
Thymoglobulin [®] (サイモグロブリン)	69	+12.3%	256	+6.0%
Eloxatin [®]	58	-24.3%	227	-0.5%
Taxotere [®] (タキソテール)	49	-33.8%	222	-22.2%
Mozobil [®]	38	+12.9%	143	+16.2%
Zaltrap [®]	18	-10.0%	77	+5.8%
オンコロジー製品合計	381	-7.9%	1,504	-1.9%

第 4 四半期におけるオンコロジー製品の売上高は、米国での Eloxatin[®]の売上高減少の影響を受け、7.9%減の 3 億 8,100 万ユーロとなりました。2015 年度通年におけるオンコロジー製品の売上高は、1.9%減の 15 億 400 万ユーロでした。

第 4 四半期における Jevtana[®](ジェブタナ)の売上高は、米国 (19.2%増の 3,500 万ユーロ) および 2014 年 9 月に同製品が発売された日本に牽引され、8.1%増の 8,400 万ユーロとなりました。2015 年度通年における Jevtana[®](ジェブタナ)の売上高は、9.5%増の 3 億 2,100 万ユーロでした。

Thymoglobulin[®](サイモグロブリン)の第 4 四半期の売上高は 12.3%増の 6,900 万ユーロ、2015 年度通年の売上高は 6.0%増の 2 億 5,600 万ユーロでした。

第4四半期における **Eloxatin[®]** の売上高は、米国での売上高減少のため、中国の継続的な好業績によって部分的に補われたものの、**24.3%減の 5,800 万ユーロ**となりました。期中における **Taxotere[®]** (タキソテール) の売上高は、特に日本でのジェネリック医薬品との競合を反映し、**33.8%減の 4,900 万ユーロ**となりました。**2015 年度通年**における **Eloxatin[®]** の売上高は、**0.5%減の 2 億 2,700 万ユーロ**、**Taxotere[®]** (タキソテール) の売上高は、**22.2%減の 2 億 2,200 万ユーロ**でした。カナダで最近、**Eloxatin[®]** のジェネリック医薬品が発売されました。

Mozobil[®] の第4四半期の売上高は **12.9%増の 3,800 万ユーロ**、**2015 年度通年**の売上高は **16.2%増の 1 億 4,300 万ユーロ**でした。

エスタブリッシュ処方製品

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第4四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
Plavix [®] (プラビックス)	455	-14.2%	1,929	-4.1%
Lovenox [®]	419	-3.4%	1,719	-0.5%
Renvela [®] /Renagel [®] (レナジェル)	239	+0.9%	935	+18.9%
Aprovel [®] /Avapro [®]	170	-7.9%	762	-3.7%
Synvisc [®] (サイビスク)/Synvisc-One [®]	116	+4.0%	413	+2.3%
Multaq [®]	85	0.0%	341	+0.7%
Myslee [®] (マイスリー)/Ambien [®] /Stilnox [®]	85	+2.6%	306	-6.2%
Allegra [®] (アレグラ)	44	+2.4%	194	-3.6%
AuviQ [®] /Allerject [®]	-118		-5	
その他	1,204	-7.7%	5,039	-3.5%
エスタブリッシュ処方製品合計	2,699	-10.4%	11,633	-2.3%

第4四半期における**エスタブリッシュ処方製品**の売上高は、**10.4%減の 26 億 9,900 万ユーロ**でした。**AuviQ[®]/Allerject[®]**を除くと、**エスタブリッシュ処方製品**の売上高は、**6.5%減**でした。

第4四半期における **Plavix[®]** (プラビックス) の売上高は、**2015 年 6 月**に日本で生じたジェネリック医薬品との競合(日本での売上高は **36.5%減の 1 億 4,400 万ユーロ**)による影響により、中国(**17.0%増の 1 億 7,400 万ユーロ**)での継続的な好業績を部分的に相殺し、**14.2%減の 4 億 5,500 万ユーロ**となりました。**2015 年度通年**における **Plavix[®]** (プラビックス) の売上高は、日本(**12.5%減の 6 億 9,500 万ユーロ**)および中国(**13.1%増の 6 億 6,000 万ユーロ**)の売上高を受けて、**4.1%減の 19 億 2,900 万ユーロ**となりました。

第4四半期における **Lovenox[®]** の売上高は、米国でのジェネリック医薬品との競合の影響を受け、**3.4%減の 4 億 1,900 万ユーロ**となりました。新興市場での **Lovenox[®]** の売上高は **2.0%増の 1 億 5,100 万ユーロ**、西欧諸国での売上高は前年同期並みの **2 億 2,700 万ユーロ**でした。サノフィは、競合他社がエノキサパリンのバイオシミラー製剤に関する販売承認申請を欧州の保健当局に提出したことを認識しています。**2015 年度通年**における **Lovenox[®]** の売上高は、**0.5%減の 17 億 1,900 万ユーロ**でした。

第4四半期における **Renvela[®]/Renagel[®]** (レナジェル) の売上高は、**0.9%増の 2 億 3,900 万ユーロ**でした。米国での同製品の売上高は、**6.9%増の 1 億 9,300 万ユーロ**となりました。同製品のジェネリック医薬品は、現在、一部の欧州諸国で販売されており、これを受けて西欧諸国における **Renvela[®]/Renagel[®]** (レナジェル) の売上高は、**36.1%減の 2,300 万ユーロ**となりました。サノフィは、**2016 年**に米国でジェネリック医薬品が承認されるものと予測しています。**2015 年度通年**における **Renvela[®]/Renagel[®]** (レナジェル) の売上高は、**18.9%増の 9 億 3,500 万ユーロ**でした。

第4四半期における **Aprovel[®]/Avapro[®]** の売上高は、西欧諸国(**16.3%減の 3,600 万ユーロ**)でのジェネリック医薬品との競合を反映し、**7.9%減の 1 億 7,000 万ユーロ**となりました。新興市場での同製品の売上高は、**2.0%減の 1 億ユーロ**となりました。中国での好業績(**17.8%増の 5,800 万ユーロ**)がベネズエラおよび中東での売上高減少によって一部相殺されました。**2015 年度通年**における **Aprovel[®]/Avapro[®]** の売上高は、**3.7%減の 7 億 6,200 万ユーロ**でした。

10 月 30 日、サノフィは、米国およびカナダで **Auvi-Q[®]** および **Allerject[®]** を自主回収することを発表しました。売上高に対する回収のマイナス影響は **1 億 2,200 万ユーロ**であり、これは、主に **2015 年初頭以降**の同製品の売上高の取消として処理されません。

ワクチン

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 4 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
インフルエンザワクチン (Vaxigrip®と Fluzone®を含む)	450	+25.1%	1,322	+2.0%
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチン (Pentacel®, Pentaxim®, および ImovaxPolio®(イモバックス)ポリオを含む)	466	+13.5%	1,348	+8.1%
髄膜炎・肺炎ワクチン (Menactra®(メナクトラ)を含む)	112	+9.8%	614	+16.7%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン(Adacel®を含む)	150	+35.0%	496	+10.1%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	100	-2.0%	375	-6.9%
その他のワクチン	164	-3.4%	588	+19.9%
—VaxServe	135	+4.4%	481	+28.7%
ワクチン合計 (連結売上高)	1,442	+15.0%	4,743	+7.3%

第 4 四半期におけるサノフィパスツールの連結売上高は、米国のインフルエンザワクチン、成人用ブースター(追加接種)ワクチン、髄膜炎・肺炎ワクチン、および新興市場のポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンに牽引され、15.0%増の 14 億 4,200 万ユーロとなりました。第 4 四半期におけるサノフィパスツールの米国での売上高は、4.4%増の 7 億 7,600 万ユーロ、新興市場での売上高は 24.0%増の 5 億 3,100 万ユーロとなりました。2015 年度通年におけるサノフィパスツールの売上高は、7.3%増の 47 億 4,300 万ユーロとなりました。

第 4 四半期におけるインフルエンザワクチンの売上高は、米国、メキシコ、中東、および西欧諸国での段階的な供給調整の好影響を受け、25.1%増の 4 億 5,000 万ユーロとなりました。米国でのインフルエンザワクチンの売上高は、30.4%増の 3 億 2,200 万ユーロとなりました。新興市場での売上高は、8.5%増の 1 億 900 万ユーロでした。2015 年度通年におけるインフルエンザワクチンの売上高は、2.0%増の 13 億 2,200 万ユーロであり、そのうち米国における 8 億 9,600 万ユーロ(11.8%増)は、差別化したインフルエンザワクチンを提供するサノフィパスツールの戦略を反映したものです。この業績は、ブタントン研究所の供給が増加したことによるブラジルでの売上高減少によって部分的に相殺されました。

第 4 四半期におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンの売上高は、中国での Pentaxim®、中東での Hexaxim®、競合製品の供給の遅れを受けた日本でのインフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンの売上高に牽引され、13.5%増の 4 億 6,600 万ユーロとなりました。期中における新興市場のポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンの売上高は、45.4%増の 3 億 1,700 万ユーロでした。

第 4 四半期に米国で Pentacel®の供給が制限され、米国でのポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンの売上高は、8,600 万ユーロとなりました。供給の制限は、2016 年度上半期を通じて続く見通しです。2015 年度通年におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンの売上高は、8.1%増の 13 億 4,800 万ユーロでした。

第 4 四半期における Menactra®(メナクトラ)の売上高は、米国でのブースター(追加接種)ワクチンに牽引され、16.3%増の 1 億 400 万ユーロとなりました。2015 年度通年に、Menactra®(メナクトラ)は好業績を記録し、売上高は 18.2%増の 5 億 6,300 万ユーロとなりました。

第 4 四半期における成人用ブースターワクチンの売上高は、米国での Adacel®の段階的な供給調整を反映し、35%増の 1 億 5,000 万ユーロとなりました。2015 年度通年における成人用ブースターワクチンの売上高は、10.1%増の 4 億 9,600 万ユーロでした。

トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンの第 4 四半期の売上高は 2.0%減の 1 億ユーロ、2015 年度通年の売上高は 6.9%減の 3 億 7,500 万ユーロでした。

世界初の Dengvaxia®が 2015 年下旬に 3 カ国(メキシコ、フィリピン、ブラジル)で承認されましたが、2015 年度第 4 四半期に売上高は記録されていません。

欧州におけるメルク社とのジョイントベンチャーであるサノフィパスツール MSD(サノフィに非連結)の第 4 四半期の売上高は、前年同期並み(為替調整前)の 2 億 4,000 万ユーロ、2015 年度通年の売上高は、前年同期比(為替調整前)2.8%減の 8 億 2,400 万ユーロとなりました。

動物用医薬品⁽⁷⁾

(単位:100万ユーロ)	2015年度 第4四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
コンパニオンアニマル	321	+8.7%	1,629	+13.1%
産業動物	238	+2.6%	886	+7.0%
動物用医薬品合計	559	+5.9%	2,515	+10.8%
ーワクチン	213	0.0%	804	+5.7%
ーフィプロニル製品	102	-14.9%	627	-4.5%
ーアベルメクチン製品	94	+4.7%	498	+11.1%

第4四半期における**動物用医薬品**の売上高は、メリアルの子世代の犬用ノミ・マダニ駆除薬である NexGard[®](ネクスガード)の継続的な成功と反芻動物用製品の好業績に支えられ、5.9%増の5億5,900万ユーロとなりました。米国における動物用医薬品の売上高は12.9%増の2億1,900万ユーロ、「その他の国」における動物用医薬品の売上高は14.9%増の5,400万ユーロとなりました。2015年度通年における動物用医薬品の売上高は、NexGard[®](ネクスガード)の成功に牽引され、10.8%増の25億1,500万ユーロとなりました。

第4四半期における**コンパニオンアニマル**・セグメントの売上高は、NexGard[®](ネクスガード)の成功が Frontline[®](フロントライン)製品群の売上高減少を相殺したことを反映し、8.7%増の3億2,100万ユーロとなりました。2015年に、NexGard[®](ネクスガード)は、メリアル第3位の製品となりました。上半期におけるコンパニオンアニマル・セグメントの売上高は、13.1%増の16億2,900万ユーロでした。

第4四半期における**産業動物**セグメントの売上高は、LongRange[®]の成功を反映した米国における反芻動物事業の業績に牽引され、2.6%増の2億3,800万ユーロとなりました。第4四半期における家禽事業の売上高は、前年同期の好業績を受けて1.1%増でした。2015年度通年における産業動物セグメントの売上高は、7.0%増の8億8,600万ユーロでした。

⁽⁷⁾ IFRS第5号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、連結損益計算書で単一項目として報告される動物用医薬品事業を含みます。動物用医薬品事業はIFRS第8号に沿った営業部門として存続するため、引き続きサノフィが動物用医薬品事業の業績を管理および報告します。

地域別グループ売上高総計

(単位:100 万ユーロ)	2015年度 第4四半期 グループ売上高 総計	前年同期比 (CER)	2015年度 通年 グループ売上高 総計	前年同期比 (CER)
米国	3,292	-8.2%	13,406	-1.0%
新興市場 ^(a)	3,102	+5.5%	12,014	+7.8%
－中南米	780	-3.9%	3,305	+4.0%
－アジア	985	+16.2%	3,732	+13.2%
－東欧、ロシア、およびトルコ	640	+4.3%	2,429	+5.4%
－アフリカおよび中東	625	+4.5%	2,319	+6.8%
西欧諸国 ^(b)	2,009	+1.7%	8,026	+0.9%
その他の国 ^(c)	875	-9.1%	3,611	-2.5%
－日本	510	-13.8%	2,082	-6.6%
グループ売上高総計	9,278	-1.6%	37,057	+2.2%

(a) 米国、カナダ、西欧諸国、日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランドを除く各国

(b) フランス、ドイツ、英国、イタリア、スペイン、ギリシャ、キプロス、マルタ、ベルギー、ルクセンブルク、ポルトガル、オランダ、オーストリア、スイス、スウェーデン、アイルランド、フィンランド、ノルウェー、アイスランド、デンマーク

(c) 日本、韓国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド

第4四半期における米国の売上高総計は、糖尿病領域の売上高の25.1%減と Auvi-Q[®]の製品回収の影響がジェンザイム(42.1%増)および動物用医薬品(12.9%増)の好業績によって部分的に相殺され、8.2%減の32億9,200万ユーロとなりました。Auvi-Q[®]を除くと、第4四半期における米国の売上高は、5.0%減少しました。2015年度通年における米国での売上高総計は、1.0%減の134億600万ユーロとなりました。

第4四半期における新興市場の売上高総計は、糖尿病領域(15.1%増)、ワクチン(24.0%増)、およびジェンザイム(9.7%増)の好業績を反映し、5.5%増の31億200万ユーロとなりました。第4四半期におけるアジアの売上高総計は、中国の業績(26.9%増の6億400万ユーロ)に支えられ、16.2%増の9億8,500万ユーロとなりました。

中国の好業績は、主にワクチン、Plavix[®](プラビックス)、Lantus[®](ランタス)、および Aprovel[®]に牽引されました。第4四半期における中南米の売上高総計は、現地の経済状況に影響を受けたブラジルの売上高総計(7.2%減の2億2,500万ユーロ)を反映し、3.9%減の7億8,000万ユーロとなりました。第4四半期における東欧、ロシア、およびトルコの売上高総計は、トルコおよびウクライナに牽引され、4.3%増の6億4,000万ユーロとなりました。ロシアの売上高総計は、Cerezyme[®](セレザイム)の売上高減少を反映し、0.5%減の1億6,800万ユーロとなりました。アフリカおよび中東の売上高総計は、中東の業績に支えられ、4.5%増の6億2,500万ユーロとなりました。2015年度通年における新興市場の売上高総計は、7.8%増の120億1,400万ユーロでした。2015年度通年における中国の売上高総計は19.5%増の22億1,800万ユーロ、ロシアの売上高総計は2.6%減の5億9,600万ユーロ、ブラジルの売上高総計は6.2%減の11億1,200万ユーロでした。

第4四半期における西欧諸国での売上高総計は、1.7%増の20億900万ユーロとなりました。ジェンザイム(25.3%増)およびワクチンの好業績がエスタブリッシュ処方製品(6.6%減)によって一部相殺されました。2015年度通年における西欧諸国での売上高総計は、0.9%増の80億2,600万ユーロとなりました。

第4四半期における日本の売上高総計は、ワクチンの大幅伸長(76.0%増)にもかかわらず、Plavix[®](プラビックス)のジェネリック医薬品との競合による売上高減少(36.5%減)を反映し、13.8%減の5億1,000万ユーロとなりました。2015年度通年における日本の売上高総計は、6.6%減の20億8,200万ユーロでした。

研究開発の最新情報

サノフィの研究開発パイプラインの全容については、付録 8 をご参照ください。

薬事関連の最新情報

2015 年 10 月 29 日の 2015 年度第 3 四半期業績発表以降、以下の薬事関連の出来事がありました。

- 1 月、サノフィと Regeneron 社は、米国食品医薬品局 (FDA) が **sarilumab** の生物学的製剤承認申請書 (BLA) を受理し、審査を開始したことを発表しました。処方せん薬ユーザーフィー法 (PDUFA) に基づく目標期限は、2016 年 10 月 30 日です。
- 12 月、**Dengvaxia**[®] がブラジル、メキシコ、フィリピンの規制当局の薬事承認を受けました。
- 12 月、CHMP は、PR5I である **Vaxelis** の EU における販売承認を勧告する肯定的見解を示しました。
- 12 月、サノフィは、現在開発中の**インスリン グラルギン 100 単位/mL とリキシセナチドの固定比率合剤**について、新薬承認申請 (NDA) を米国食品医薬品局 (FDA) に申請しました。これが承認されれば、2 型糖尿病の成人患者の治療薬として 1 日 1 回投与されます。

2016 年 2 月初め時点の研究開発パイプラインは、46 の新規分子化合物 (ライフサイクルマネジメントを除く) および臨床開発段階にあるワクチンの候補から構成され、そのうち 14 は第 III 相あるいは規制当局に承認申請を行っている段階にあります。

提携

- 1 月、サノフィと **Warp Drive Bio** 社 (自然界の分子と構造を使用して、変革的な医薬品を創薬・開発するバイオテクノロジー企業) は、新しいがん治療薬および抗生物質の創薬に、**Warp Drive** が自社開発した **SMART**^(TM) (**Small Molecule Assisted Receptor Targeting**) およびゲノムマイニングプラットフォームを使用するため、既存の提携を拡大し、新たなものにすることを発表しました。
- 1 月、サノフィと **Innate Pharma** 社は、**Innate Pharma** 社が自社開発した新技術を応用し、**NKp46** 受容体を活性化させてナチュラルキラー (NK) 細胞に腫瘍細胞を攻撃させる革新的な二重特異性抗体を開発する、共同研究およびライセンス契約を締結したことを発表しました。
- 11 月、サノフィと **Lexicon** 社は、糖尿病患者の治療オプションとなる可能性を持つ開発中のナトリウム・グルコース共輸送体 1 および 2 (**SGLT-1** および **SGLT-2**) の新しい経口二重阻害剤である **sotagliflozin** の開発および販売に関する提携およびライセンス契約を締結しました。開発段階にある医薬品の **sotagliflozin (LX4211)** は現在、1 型糖尿病における 2 件の主要な第 III 相試験で研究されており、2016 年下半期に重要な結果が発表される見通しです。2 型糖尿病における第 III 相試験は、2016 年に開始される予定です。
- 11 月、サノフィと **Hanmi** 社は、実験的な長時間持続型糖尿病治療薬のポートフォリオを開発するグローバルライセンス契約を発表しました。サノフィは、後期段階の長時間作用型グルカゴン様ペプチド-1 受容体作動薬 (**GLP1-RA**) である **efpeglenatide**、週 1 回投与のインスリン、週 1 回投与の固定用量 **GLP-1-RA/インスリン** 併用療法を開発および販売する独占的なグローバルライセンスを取得しました。
- 11 月、サノフィと **BioNTech A.G.** 社は、複数年の独占的提携およびライセンス契約を締結したことを発表しました。このサノフィと **BioNTech** 社の研究提携では、2 つの組織の科学的専門知識を活用し、それぞれが合成メッセンジャー RNA (mRNA) の混合から構成される 5 つまでのがん免疫療法を発見し開発します。
- 11 月、サノフィと **アストラゼネカ** 社は、両社がそれぞれ所有する化合物ライブラリから 21 万種の化合物を直接、互いに交換することを発表しました。この交換は、大手製薬企業 2 社による提携の新たなオープンイノベーションモデルとなります。これにより、両社が所有する化合物の化学的多様性を高め、両社が新たな低分子医薬品の開発に向けた探索を始める際に、より幅広い、より多彩な化学物質からスクリーニングができるようになります。

ポートフォリオの最新情報

第 III 相:

- 2 月、当社のパートナーである Alnylam 社は、家族性アミロイドポリニューロパチー (FAP) 患者におけるトランスサイレチン (TTR) 介在性アミロイドーシス (ATTR アミロイドーシス) の治療薬として TTR を治療標的としている開発中の RNAi である **patisiran** に関して、第 III 相 APOLLO 試験の患者登録が完了したことを発表しました。
- 11 月、サノフィと Regeneron 社は、急性冠症候群発症後の **Praluent**[®] (一般名: alirocumab) 注入の心血管系ベネフィットを前向きに評価する国際第 III 相 ODYSSEY OUTCOMES 試験における患者登録を完了したことを発表しました。1 万 8,000 例を対象とする ODYSSEY OUTCOMES 試験は、2017 年に完了する見通しです。
- 11 月、サノフィと Regeneron 社は、現在開発中の完全ヒト型抗 IL-6 受容体モノクローナル抗体 **sarilumab** の主要な第 III 相試験の結果を発表しました。SARIL-RA-TARGET 試験の結果は、カリフォルニア州サンフランシスコで開催された米国リウマチ学会 (ACR: American College of Rheumatology) 年次会議で発表されました。試験の主要評価項目である関節リウマチの兆候と症状の改善、ならびに身体機能の改善に加え、副次評価項目も達成しました。
- SGLT1 および SGLT2 の経口二重阻害剤である SAR439954 (Lexicon 社との提携・ライセンス契約) が 1 型糖尿病の第 III 相ポートフォリオに組み入れられました。
- ロタウイルスに対するワクチンを評価する第 III 相の結果は、薬事承認申請につながりませんでした。

第 II 相:

- SGLT1 および SGLT2 の経口二重阻害剤である **SAR439954** (Lexicon 社との提携・ライセンス契約) が 2 型糖尿病の第 II 相ポートフォリオに組み入れられました。
- 長時間作用型 GLP-1 受容体作動薬である **SAR439977** (Hanmi 社とのライセンス契約) が 2 型糖尿病の第 II 相ポートフォリオに組み入れられました。

第 I 相:

- 微小血管性狭心症における rho キナーゼである **SAR407899** が第 I 相に入りました。
- 長時間持続型インスリンアナログである **SAR440067** (Hanmi 社とのライセンス契約) が 2 型糖尿病の第 I 相ポートフォリオに組み入れられました。
- 重度低血糖における安定化グルカゴンアナログである **SAR438544** が第 I 相に入りました。

2015 年度第 4 四半期および通年の業績総計

事業純利益⁽⁶⁾

2015 年度第 4 四半期におけるサノフィの売上高総計は、2015 年度第 4 四半期の為替レートで 2.3%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 1.6%減)の 92 億 7,800 万ユーロとなりました。2015 年度通年のグループ売上高総計は、2015 年度通年の為替レートで 9.7%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 2.2%増)の 370 億 5,700 万ユーロとなりました。

その他収益総計は、2015 年度第 4 四半期は 10.2%増の 1 億 800 万ユーロ、2015 年度通年は 6.2%増の 3 億 6,000 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、その他収益総計は、欧州で Enbrel[®]の売上高に対して受け取るロイヤリティが減少したことから、2015 年度第 4 四半期は 3.1%増、2015 年度通年は 4.7%減となりました。

第 4 四半期における売上総利益総計は、2.9%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 2.2%減)の 63 億 400 万ユーロとなりました。売上総利益率総計は、為替レート変動の好影響により、前年同期と比較し 0.3 ポイント改善し 67.9%となりました。為替レート変動の影響を排除した場合、多発性硬化症製品群とワクチン製品構成によるプラス影響が、米国の糖尿病領域、日本での Plavix[®](プラビックス)のジェネリック医薬品との競合、Auvi-Q[®]の製品回収によるマイナス影響によって相殺されました。売上総利益率総計は、モノクローナル抗体製造への投資も反映しています。2015 年度通年の売上総利益総計は、11.0%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 2.0%増)の 256 億 1,300 万ユーロとなりました。2015 年度通年の売上総利益率総計は、為替レート変動の好影響により、前年同期と比較し 0.8 ポイント改善し 69.1%となりました。為替レート変動の影響を排除した場合、多発性硬化症製品群とワクチン製品構成によるプラス影響が、米国の糖尿病領域によるマイナス影響によって相殺されました。サノフィは、2016 年度の売上総利益率総計が 68%~69%(為替レート変動の影響を排除した場合)となるものと予想しています。

第 4 四半期における研究開発費総計は、4.7%増の 14 億 1,500 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、研究開発費総計は前年同期並みでした。2015 年度通年における研究開発費総計は、9.0%増の 52 億 5,900 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、研究開発費総計は、dupilumab への支出増加、Praluent[®]に関する ODYSSEY 心血管アウトカム試験、Regeneron 社との新たな腫瘍免疫提携の開始や、最近のライセンス導入により、1.8%増となりました。2015 年度通年の売上高総計に占める研究開発費総計の割合は、前年同期比で 0.1 ポイント減少し、14.2%となりました。

第 4 四半期における販売費および一般管理費(SG&A)総計は、9.5%増の 27 億ユーロでした。為替レート変動の影響を排除した場合、SG&A 総計は、米国での Praluent[®]および Toujeo[®](ランタス XR)の発売コスト、多発性硬化症製品群を支える営業費を反映して、5.4%増となりました。第 4 四半期の売上高総計に占める SG&A 総計の割合は、前年同期比で 1.9 ポイント増加し、29.1%となりました。2015 年度通年の SG&A 総計は、新製品発売への投資もあり、14.0%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 6.0%増)の 102 億 4,700 万ユーロとなりました。2015 年度通年の売上高総計に占める SG&A 総計の割合は、前年同期比で 1.1 ポイント増加し、27.7%となりました。

第 4 四半期におけるその他の当期営業収益(費用控除後)総計は、前年同期の 9,600 万ユーロに対し、2,000 万ユーロとなりました。2015 年度第 4 四半期のキャピタルゲイン(税控除前)は、第三者企業への複数の小規模製品の売却により、前年同期の 7,900 万ユーロに対し、8,300 万ユーロとなりました。MannKind 社との契約解除に関連して、2015 年度第 4 四半期に 7,100 万ユーロの費用が計上されました。2015 年度通年におけるその他の当期営業収益(費用控除後)総計は、前年度の 1 億 6,400 万ユーロの利益に対し、2 億 300 万ユーロの損失となりました。2015 年度通年にサノフィは、ベネズエラを拠点とする子会社に関連する為替差損として、2 億 4,000 万ユーロを計上しました。この為替差損は、主に、グループ内での米ドル建て支払い時の決済に適用される予想為替レートを使用して、再測定したことにより生じました。

第 4 四半期における関連会社持分利益総計は、前年同期の 6,500 万ユーロに対し、3,100 万ユーロとなりました。糖尿病領域での Verily 社(旧称 Google Life Sciences 社)との提携にかかる初期費用は、2015 年第 4 四半期にこの項目に計上されました。関連会社持分利益総計には、2014 年 4 月以降の持分法に基づき計上された Regeneron 社の利益に占める当社の持分、および欧州におけるメルク社とのワクチン関連ジョイントベンチャーであるサノフィパスツール MSD の利益に占める当社の持分が含まれています。2015 年度通年における関連会社持分利益総計は、前年同期の 1 億 4,700 万ユーロに対し、1 億 7,000 万ユーロとなりました。

第 4 四半期における非支配株主に帰属する純利益総計は、前年同期の 3,100 万ユーロの損失に対し、3,900 万ユーロの損失となりました。2015 年度通年の非支配株主に帰属する純利益総計は、前年同期並みの 1 億 2,600 万ユーロの損失でした。

⁽⁶⁾ 財務指標の定義については付録 10、事業純利益から IFRS 純利益への調整については付録 3 をご参照ください。

第4四半期における**事業営業利益総計**は、9.9%減の22億100万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、Auvi-Q[®]の製品回収とMannKind社との(Afrezza[®]に関連する)契約解除の影響を受け、事業営業利益総計は16.6%減でした。

純売上高に占める事業営業利益総計の割合は、前年同期比で3.2ポイント減少し、23.7%となりました。2015年度通年における事業営業利益総計は、5.3%増(為替レート変動の影響を排除した場合は2.9%減)の99億4,800万ユーロとなりました。2015年度通年の純売上高に占める事業営業利益総計の割合は、1.2ポイント減少し、26.8%となりました。

第4四半期における**純財務費用総計**は、金融資産の処分と再評価を含め、前年同期の1億3,800万ユーロに対し、7,600万ユーロでした。2015年度通年における純財務費用総計は、財務費用と年金利子費用の低減を反映して、前年同期の4億4,700万ユーロに対し、3億9,000万ユーロでした。

第4四半期の**実効税率**(動物用医薬品を含む)は19.5%でした。通年の実効税率(動物用医薬品を含む)は、前年同期の24.0%に対し、23.0%でした。この減少は、フランスにおける配当課税の変更の影響を反映しています。

第4四半期における**事業純利益⁽⁶⁾**は、6.5%減(為替レート変動の影響を排除した場合は13.5%減)の17億900万ユーロとなりました。第4四半期の売上高総計に占める事業営業利益の割合は、前年同期比で1.7ポイント減し、18.4%となりました。2015年度通年における事業純利益は、7.7%増(為替レート変動の影響を排除した場合は0.9%減)の73億7,100万ユーロとなりました。2015年度通年の売上高総計に占める事業営業利益の割合は、前年同期比で0.4ポイント減少し、19.9%となりました。

2015年度第4四半期の**1株当たり事業純利益⁽⁶⁾(EPS)**は、為替調整前では5.8%減、為替レート変動の影響を排除した場合は12.9%減の1.31ユーロとなりました。2015年度第4四半期の期中平均発行済み株式数は、前年同期の13億1,580万株に対し、13億490万株となりました。2015年度通年の1株当たり事業純利益⁽⁶⁾は、為替調整前では8.5%増、為替レート変動の影響を排除した場合は前年同期並み(0.0%)の5.64ユーロとなりました。2015年度通年の期中平均発行済み株式数は、前年同期の13億1,580万株に対し、13億620万株となりました。

事業純利益からIFRS純利益への調整(付録3を参照)

2015年度通年の事業純利益とIFRS純利益間の主な調整項目は、以下のとおりです。

- 買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの6億3,800万ユーロ、ジェンザイムの8億9,000万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:3億6,700万ユーロ)に関連した償却費、21億3,700万ユーロ。2015年度第4四半期には、買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの1億4,500万ユーロ、ジェンザイムの2億2,400万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:2億7,200万ユーロ)に関連した償却費、6億9,500万ユーロを計上しました。これらの項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 無形固定資産に対する減損、7億6,700万ユーロ(このうち5億3,300万ユーロが主にAfrezza[®]、ロタウイルスワクチン、およびAuvi-Q[®]に関連して2015年度第4四半期に計上)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- CVRに関連した偶発対価の公正価値の低下(1億4,300万ユーロ。このうち1,600万ユーロの収益を2015年度第4四半期に計上)およびLemtrada[®]に関連したバイエル社の偶発対価の公正価値の低下(1億400万ユーロ。このうち1億2,400万ユーロの損失を2015年度第4四半期に計上)を反映した5,300万ユーロの収益。
- 7億9,500万ユーロの事業再編費用(主に欧州、北米、日本、およびベネズエラの変革に関連する第4四半期の3億5,900万ユーロを含む)。
- 上記項目から生じた13億3,100万ユーロの税効果(無形固定資産に対する償却費から生じた繰延税金7億5,700万ユーロ、無形固定資産の減損損失に関連した2億6,200万ユーロ、および事業再編費用に関連した2億7,300万ユーロから構成される)。第4四半期の税効果は、無形固定資産に対する償却費から生じた繰延税金2億5,700万ユーロ、無形固定資産に対する減損に関連した1億7,500万ユーロ、事業再編費用に関連した1億2,400万ユーロを含め、6億200万ユーロでした(付録3を参照)。
- 当社株主に支払った配当に対する1億1,100万ユーロの税金

⁽⁶⁾ 財務指標の定義については付録10、事業純利益からIFRS純利益への調整については付録3をご参照ください。

- 「関連会社持分利益」に含まれる、関連会社買収の一部としての資産および負債の公正価値での再評価、ならびにジョイントベンチャーの無形固定資産の償却に関連した 1 億 9,100 万ユーロの費用(税控除後)(このうち 5,900 万ユーロを 2015 年度第 4 四半期に計上)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 「動物用医薬品」項目に含まれる、主に無形固定資産の償却に関連した 3 億 3,300 万ユーロの費用(税控除後)に関連した 4 億 9,200 万ユーロの純利益。子会社への投資に関連する将来加算一時差異は解消される可能性があるため、2015 年度通年のこの項目には、これらの差異から生じる 1 億 4,900 万ユーロの繰延税金が含まれます。

資本配分

14 億 6,400 万ユーロの資本支出と 10 億 4,800 万ユーロの運転資本の減少を考慮し、2015 年度通年の営業活動からの純キャッシュは、12.2%増の 81 億 3,200 万ユーロとなりました。この純キャッシュフローは、新株発行による収入(5 億 7,300 万ユーロ)によって部分的に相殺された株式の買い戻し(17 億 8,400 万ユーロ)、サノフィが支払った配当(36 億 9,400 万ユーロ)、買収・提携(純支出)(17 億 1,600 万ユーロ)、および事業再編費用(6 億 8,200 万ユーロ)のための財源に充当しました。その結果、純負債は、特に米ドルで保有された負債の換算の影響を含め、2014 年 12 月 31 日時点の 71 億 7,100 万ユーロから、2015 年 12 月 31 日時点の 72 億 5,400 万ユーロ(91 億 4,800 万ユーロの現金および現金同等物を控除)へと増加しました。

付録

付録一覧

- 付録 1: 2015 年度第 4 四半期および通年の地域別・製品別純売上高およびグループ売上高総計
- 付録 2: 2015 年度第 4 四半期および通年の損益計算書
- 付録 3: 事業純利益から IFRS 純利益への調整
- 付録 4: 2015 年度第 4 四半期および通年の連結損益計算書
- 付録 5: 純負債の変動
- 付録 6: 簡易連結貸借対照表
- 付録 7: 2016 年の為替感度
- 付録 8: 研究開発パイプライン
- 付録 9: 見込まれる研究開発マイルストーン
- 付録 10: 定義

付録 1: 2015 年度第 4 四半期および通年の地域別・製品別純売上高および純売上高総計⁽¹⁾

2015 年度第 4 四半期 (単位: 100 万ユーロ)	合計	前年度 比 (CER)	前年度比	西欧諸国	前年度 比 (CER)	米国	前年度 比 (CER)	新興市場	前年度 比 (CER)	その他の 国	前年度 比 (CER)
Lantus (ランタス)	1 536	-19.9%	-13.3%	223	-3.1%	933	-31.6%	296	14.6%	84	-5.8%
Apidra (アピドラ)	104	3.1%	8.3%	28	12.0%	42	-12.2%	24	19.0%	10	11.1%
Amaryl (アマリアル)	94	0.0%	3.3%	4	0.0%	0	0.0%	76	4.2%	14	-20.0%
Insuman	38	0.0%	0.0%	18	-14.3%	0	-	20	23.5%	0	0
BGM	16	-11.1%	-11.1%	15	0.0%	0	-	0	-100.0%	1	-50.0%
Lyxumia (リキスマア)	11	25.0%	37.5%	6	50.0%	0	-	2	100.0%	3	-33.3%
Afrezza	2	-	-	0	-	2	-	0	-	0	0
Toujeo (ランタス XR)	98	-	-	8	-	79	-	8	-	3	0
その他の糖尿病製品	4	300.0%	300.0%	0	-	0	-	0	-	4	300.0%
糖尿病	1 903	-12.6%	-6.0%	302	1.0%	1 056	-25.1%	426	15.1%	119	-3.4%
Taxotere (タキソテール)	49	-33.8%	-31.0%	1	-75.0%	-6	-600.0%	36	-14.3%	18	-37.5%
Jevtana (ジェブタナ)	84	8.1%	13.5%	30	-16.7%	35	19.2%	9	12.5%	10	150.0%
Eloxatine	58	-24.3%	-21.6%	1	0.0%	6	-80.0%	30	7.4%	21	0.0%
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	69	12.3%	21.1%	9	0.0%	37	6.7%	18	26.7%	5	25.0%
Mozobil	38	12.9%	22.6%	10	25.0%	21	0.0%	4	0.0%	3	200.0%
Zaltrap	18	-10.0%	-10.0%	12	8.3%	5	-57.1%	2	100.0%	-1	0
その他のオンコロジー製品	65	-6.3%	3.2%	10	0.0%	42	-5.1%	6	-44.4%	7	66.7%
オンコロジー	381	-7.9%	-2.3%	73	-7.4%	140	-17.1%	105	-1.9%	63	3.5%
Aubagio	272	69.9%	86.3%	58	114.8%	194	57.4%	9	150.0%	11	42.9%
Lemtrada	81	368.8%	406.3%	28	125.0%	44	1850.0%	4	400.0%	5	300.0%
Cerezyme (セラゼイム)	180	-9.6%	-8.6%	61	-1.6%	47	-12.5%	59	-14.7%	13	-8.3%
Cerdelga (サデルガ)	22	400.0%	450.0%	3	-	19	300.0%	0	-	0	0
Myozyme (マイオザイム)	167	6.7%	11.3%	72	0.0%	55	9.3%	28	11.5%	12	30.0%
Fabrazyme (ファブラザイム)	158	20.3%	28.5%	35	17.2%	82	20.3%	19	46.7%	22	5.0%
Aldurazyme (アウドラザイム)	49	6.7%	8.9%	18	12.5%	11	0.0%	15	21.4%	5	-33.3%
その他の希少疾患製品	84	21.5%	29.2%	15	25.0%	33	19.2%	14	22.2%	22	22.2%
ジェンザイム	1 013	28.2%	35.8%	290	25.3%	485	42.1%	148	9.7%	90	16.2%
Plavix (プラビックス)	455	-14.2%	-9.0%	39	-20.4%	0	-	256	8.5%	160	-35.5%
Lovenox	419	-3.4%	-3.9%	227	0.0%	18	-54.3%	151	2.0%	23	4.5%
Renagel (レナジェル) / Renvela	239	0.9%	12.2%	23	-36.1%	193	6.9%	17	33.3%	6	0.0%
Aprovel	170	-7.9%	-4.0%	36	-16.3%	3	-60.0%	100	-2.0%	31	-6.5%
Allegra (アレグラ)	44	2.4%	7.3%	2	-50.0%	0	-	0	-	42	5.1%
Myslee / Ambien / Stilnox (マイスリー)	85	2.6%	10.4%	10	11.1%	24	0.0%	14	0.0%	37	3.0%
Synvisc (サイビスク) / Synvisc One	116	4.0%	14.9%	7	-12.5%	92	3.8%	13	18.2%	4	0.0%
Multaq	85	0.0%	13.3%	11	0.0%	70	1.6%	3	50.0%	1	-200.0%
Depakine	103	-1.9%	-1.0%	35	-5.6%	0	-	66	1.6%	2	-25.0%
Tritace	64	-5.8%	-7.2%	31	-3.2%	0	-	33	-2.8%	0	-100.0%
Lasix (ラシックス)	35	-14.6%	-14.6%	18	-10.5%	1	-100.0%	14	0.0%	2	-42.9%
Targocid (タゴシッド)	36	-21.3%	-23.4%	19	-17.4%	0	-	15	-23.8%	2	-33.3%
Orudis	31	-13.6%	-29.5%	4	-33.3%	0	-	26	-13.2%	1	0
Cordarone (アンカロン)	31	-6.1%	-6.1%	6	0.0%	0	-	17	0.0%	8	-22.2%
Xatral	23	-8.0%	-8.0%	9	-10.0%	0	-	13	-13.3%	1	0
Actonel	5	-75.0%	-75.0%	0	-100.0%	0	-	3	-50.0%	2	-87.5%
Auvi-Q / Allerject	-118	ns	ns	1	ns	-106	ns	0	-	-13	ns
その他の処方薬	876	-5.8%	-6.0%	381	-3.6%	75	-8.3%	333	-5.1%	87	-15.0%
エスタブリッシュ処方製品計	2 699	-10.4%	-8.3%	859	-6.6%	370	-26.0%	1 074	-0.7%	396	-25.1%
Praluent	5	-	-	1	-	5	-	0	-	-1	-
コンシューマー・ヘルスケア	809	1.0%	-1.0%	159	0.0%	197	0.6%	392	0.0%	61	12.5%
ジェネリック医薬品	467	4.7%	0.0%	150	9.8%	44	31.0%	258	-1.0%	15	21.4%
医薬品	7 277	-4.7%	-1.5%	1 834	0.5%	2 297	-13.3%	2 403	2.3%	743	-12.9%
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ)	466	13.5%	16.5%	12	200.0%	86	-48.6%	317	45.4%	51	63.3%
成人用ブースター (追加接種) ワクチン	150	35.0%	45.6%	25	66.7%	100	39.7%	20	10.5%	5	-16.7%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	112	9.8%	21.7%	0	-100.0%	85	19.4%	25	-11.1%	2	50.0%
インフルエンザ ワクチン	450	25.1%	34.7%	15	400.0%	322	30.4%	109	8.5%	4	-37.5%
トラバラーズ ワクチン および その他 風土病 用 ワクチン	100	-2.0%	0.0%	4	100.0%	25	22.2%	59	-9.2%	12	-13.3%
その他の ワクチン	164	-3.4%	10.8%	1	-66.7%	158	-4.1%	1	-150.0%	4	0.0%
ワクチン	1 442	15.0%	22.5%	57	103.6%	776	4.4%	531	24.0%	78	22.2%
グループ純売上高合計	8 719	-2.0%	1.8%	1 891	2.1%	3 073	-9.4%	2 934	5.6%	821	-10.4%
ファイブニル製品	102	-14.9%	-10.5%	23	-23.3%	45	-4.9%	25	-6.9%	9	-42.9%
ワクチン	213	0.0%	1.4%	53	6.0%	45	-7.0%	100	-1.9%	15	16.7%
アベルメクテン製品	94	4.7%	10.6%	12	-18.8%	50	12.5%	16	6.3%	16	7.7%
その他	150	43.9%	53.1%	30	12.5%	79	47.8%	27	40.0%	14	125.0%
動物用医薬品	559	5.9%	10.3%	118	-3.3%	219	12.9%	168	2.9%	54	14.9%
グループ売上高総計	9 278	-1.6%	2.3%	2 009	1.7%	3 292	-8.2%	3 102	5.5%	875	-9.1%

(1) IFRS 第 5 号 (売却するために保留している固定資産および廃止事業) に従い、連結損益計算書の単一項目で報告される動物用医薬品事業を含む (グループ売上高総計の定義については、付録 10 を参照)

2015年度通年 (単位:100万ユーロ)	合計	前年度 比 (CER)	前年度比	西欧諸国	前年度 比 (CER)	米国	前年度 比 (CER)	新興市場	前年度 比 (CER)	その他の 国	前年度 比 (CER)
Lantus(ランタス)	6 390	-10.8%	0.7%	898	1.8%	4 023	-20.5%	1 137	17.3%	332	1.3%
Apidra(アピドラ)	376	4.8%	11.9%	104	6.1%	145	-7.6%	89	23.3%	38	8.8%
Amaryl(アマリアル)	393	1.7%	9.2%	16	-15.8%	2	-50.0%	319	7.6%	56	-16.1%
Insuman	141	2.9%	2.9%	76	-8.5%	2	100.0%	63	20.4%	0	-
BGM	63	-1.6%	-1.6%	59	1.7%	0	-	2	-33.3%	2	-33.3%
Lyxumia(リキスマア)	38	37.0%	40.7%	22	40.0%	0	-	7	75.0%	9	12.5%
Afrezza	7	-	-	0	-	7	-	0	-	0	-
Toujeo(ランタスXR)	164	-	-	14	-	137	-	9	-	4	-
その他の糖尿病製品	8	60.0%	60.0%	0	-	0	-	1	0.0%	7	75.0%
糖尿病	7 580	-6.8%	4.2%	1 189	2.9%	4 316	-17.3%	1 627	16.4%	448	0.9%
Taxotere(タキソテール)	222	-22.2%	-16.5%	6	-60.0%	-1	-112.5%	142	-7.7%	75	-30.0%
Jevtana(ジェブタナ)	321	9.5%	17.6%	135	-5.6%	127	16.5%	33	3.0%	26	257.1%
Eloxatine	227	-0.5%	8.1%	4	-20.0%	9	-68.2%	130	14.6%	84	0.0%
Thymoglobulin(サイモグロブリン)	256	6.0%	18.0%	36	9.4%	145	12.0%	56	-5.1%	19	0.0%
Mozobil	143	16.2%	28.8%	38	8.8%	83	11.3%	15	45.5%	7	75.0%
Zaltrap	77	5.8%	11.6%	49	32.4%	21	-37.0%	7	40.0%	0	-
その他のオンコロジー製品	258	-10.6%	1.2%	51	-9.1%	162	-10.6%	23	-24.1%	22	5.0%
オンコロジー	1 504	-1.9%	7.4%	319	-1.6%	546	-3.2%	406	0.5%	233	-3.5%
Aubagio	871	77.8%	101.2%	192	130.1%	618	59.2%	29	190.0%	32	121.4%
Lemtrada	243	550.0%	614.7%	89	210.7%	128	5300.0%	12	500.0%	14	600.0%
Cerezyme(セラゼイム)	757	1.3%	5.9%	245	0.8%	201	-9.1%	263	10.3%	48	-2.2%
Cerdelga(サデルガ)	66	1325.0%	1550.0%	6	-	60	1150.0%	0	-	0	-
Myozyme(マイオザイム)	650	12.4%	19.9%	289	5.2%	205	20.4%	112	18.3%	44	18.9%
Fabrazyme(ファブラザイム)	592	17.2%	28.7%	133	19.1%	305	14.3%	71	25.4%	83	16.2%
Aldurazyme(アウドラザイム)	195	8.7%	13.4%	70	6.3%	40	0.0%	63	20.4%	22	0.0%
その他の希少疾患製品	290	8.6%	18.9%	46	9.3%	114	9.0%	40	25.8%	90	1.2%
ジェンザイム	3 664	29.5%	40.7%	1 070	26.0%	1 671	39.5%	590	21.4%	333	17.8%
Plavix(プラビックス)	1 929	-4.1%	3.6%	169	-22.6%	1	0.0%	1 006	9.2%	753	-12.6%
Lovenox	1 719	-0.5%	1.2%	909	0.4%	77	-50.8%	638	8.8%	95	3.3%
Renagel(レナジェル)/ Renvela	935	18.9%	36.7%	111	-17.3%	723	30.8%	77	12.3%	24	4.5%
Aprovel	762	-3.7%	4.8%	143	-25.3%	15	-33.3%	465	8.2%	139	-3.8%
Allegra(アレグラ)	194	-3.6%	1.0%	10	-10.0%	0	-	1	-50.0%	183	-2.8%
Myslee / Ambien / Stilnox(マイスリー)	306	-6.2%	0.0%	38	-5.0%	74	-16.2%	63	8.8%	131	-7.4%
Synvisc(サイビスク) / Synvisc One	413	2.3%	17.3%	29	3.6%	322	-1.5%	49	23.1%	13	18.2%
Multaq	341	0.7%	17.6%	41	-6.8%	287	2.1%	10	12.5%	3	-33.3%
Depakine	422	2.8%	6.8%	141	-1.4%	0	-	267	6.3%	14	-12.5%
Tritace	274	-3.9%	-2.5%	118	-7.9%	0	-	151	2.1%	5	-44.4%
Lasix(ランシックス)	162	-3.7%	-1.2%	75	-5.1%	3	-33.3%	58	7.8%	26	-15.6%
Targacid(タゴシッド)	160	-4.3%	-1.2%	80	-6.0%	0	-	72	0.0%	8	-22.2%
Orudis	156	3.8%	-2.5%	17	-15.0%	0	-	135	5.8%	4	33.3%
Cardarone(アンカロン)	130	-0.8%	0.8%	23	-4.2%	0	-	75	7.1%	32	-14.3%
Xatral	95	-3.2%	1.1%	36	-5.3%	0	-	54	-3.8%	5	25.0%
Actonel	23	-70.7%	-72.0%	1	-94.1%	0	-	15	-51.4%	7	-80.0%
Auvi-Q / Allerject	-5	-113.9%	-106.9%	3	50.0%	-6	-118.0%	0	-	-2	-122.2%
その他の処方薬	3 617	-3.0%	-0.9%	1 533	-1.9%	314	-23.0%	1 414	3.5%	356	-12.9%
エスタブリッシュ処方製品計	11 633	-2.3%	2.9%	3 477	-5.3%	1 810	-5.7%	4 550	5.9%	1 796	-11.4%
Praluent	9	-	-	1	-	9	-	0	-	-1	-
コンシューマー・ヘルスケア	3 492	2.8%	4.6%	668	-1.8%	902	6.1%	1 672	1.6%	250	15.9%
ジェネリック医薬品	1 917	7.6%	6.2%	569	4.1%	171	15.4%	1 094	5.2%	83	90.7%
医薬品	29 799	0.8%	7.5%	7 293	0.9%	9 425	-4.8%	9 939	7.1%	3 142	-3.3%
ボリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ)	1 348	8.1%	16.8%	36	50.0%	393	-20.2%	791	32.8%	128	-16.4%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン	496	10.1%	24.6%	51	-13.6%	360	9.8%	65	35.4%	20	26.7%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	614	16.7%	35.2%	2	-33.3%	496	15.0%	108	29.3%	8	-11.1%
インフルエンザワクチン	1 322	2.0%	12.2%	89	-4.3%	896	11.8%	302	-15.0%	35	-2.7%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病 用ワクチン	375	-6.9%	-0.5%	22	4.8%	111	-2.1%	188	-11.2%	54	-3.6%
その他のワクチン	588	19.9%	42.4%	3	-25.0%	565	20.8%	7	-25.0%	13	42.9%
ワクチン	4 743	7.3%	19.4%	203	-0.5%	2 821	7.2%	1 461	11.9%	258	-7.8%
グループ純売上高合計	34 542	1.6%	9.0%	7 496	0.9%	12 246	-2.2%	11 400	7.7%	3 400	-3.6%
ファイブニル製品	627	-4.5%	5.0%	183	-0.6%	301	-8.5%	110	7.8%	33	-26.2%
ワクチン	804	5.7%	11.7%	187	0.5%	195	5.2%	361	5.7%	61	28.9%
アバルメクテン製品	498	11.1%	25.1%	49	-10.9%	320	18.2%	58	11.3%	71	4.6%
その他	586	46.0%	62.3%	111	15.1%	344	53.5%	85	36.5%	46	161.1%
動物用医薬品	2 515	10.8%	21.1%	530	1.6%	1 160	15.0%	614	10.1%	211	20.0%
グループ売上高総計	37 057	2.2%	9.7%	8 026	0.9%	13 406	-1.0%	12 014	7.8%	3 611	-2.5%

(1) IFRS 第5号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、連結損益計算書の単一項目で報告される動物用医薬品事業を含む(グループ売上高総計の定義については、付録10を参照)

2015 年度 通年	医薬品			ワクチン			その他		グループ 合計		動物用医薬品 ⁽¹⁾			合計: 総計 ⁽³⁾		
	(単位:100 万ユーロ)	2015	2014	%	2015	2014	%	2015	2014	2015	2014	%	2015	2014	%	
純売上高	29,799	27,720	7.5%	4,743	3,974	19.4%			34,542	31,694	2,515	2,076	21.1%	37,057	33,770	9.7%
その他収益	288	272	5.9%	31	33	(6.1%)			319	305	41	34	20.6%	360	339	6.2%
売上原価	(8,788)	(8,282)	6.1%	(2,131)	(1,948)	9.4%			(10,919)	(10,230)	(885)	(799)	10.8%	(11,804)	(11,029)	7.0%
純売上高に占める割合	(29.5%)	(29.9%)		(44.9%)	(49.0%)				(31.6%)	(32.3%)	(35.2%)	(38.4%)		(31.9%)	(32.7%)	
売上総利益	21,299	19,710	8.1%	2,643	2,059	28.4%			23,942	21,769	1,671	1,311	27.5%	25,613	23,080	11.0%
純売上高に占める割合	71.5%	71.1%		55.7%	51.8%				69.3%	68.7%	66.4%	63.2%		69.1%	68.3%	
研究開発費	(4,530)	(4,174)	8.5%	(552)	(493)	12.0%			(5,082)	(4,667)	(177)	(157)	12.7%	(5,259)	(4,824)	9.0%
純売上高に占める割合	(15.2%)	(15.1%)		(11.6%)	(12.4%)				(14.7%)	(14.7%)	(7.0%)	(7.6%)		(14.2%)	(14.3%)	
販売費および一般管理費	(8,656)	(7,692)	12.5%	(726)	(614)	18.2%		(3)	(9,382)	(8,309)	(865)	(682)	26.8%	(10,247)	(8,991)	14.0%
純売上高に占める割合	(29.0%)	(27.7%)		(15.3%)	(15.5%)				(27.2%)	(26.2%)	(34.4%)	(32.9%)		(27.7%)	(26.6%)	
その他の当期営業損益	(121)	194		27	2		(114)	(52)	(208)	144	5	20		(203)	164	
関連会社*および合弁会社持分利益	146	106		23	40				169	146	1	1		170	147	
非支配株主に帰属する純利益	(125)	(126)		(1)	-				(126)	(126)	-	(1)		(126)	(127)	
事業営業利益	8,013	8,018	(0.1%)	1,414	994	42.3%	(114)	(55)	9,313	8,957	635	492	29.1%	9,948	9,449	5.3%
純売上高に占める割合	26.9%	28.9%		29.8%	25.0%				27.0%	28.3%	25.2%	23.7%		26.8%	28.0%	
											財務収益(費用) ⁽²⁾			(390)	(447)	
											法人税 ⁽²⁾			(2,187)	(2,155)	
											法人税率**			23.0%	24.0%	
											事業純利益			7,371	6,847	7.7%
											純売上高に占める割合			19.9%	20.3%	
											1株当たり事業純利益			5.64	5.20	8.5%

											(単位:ユーロ)					

* 税控除後

** 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基づいて算出

*** 2015 年度通年の 13 億 620 万株、前年同期の 13 億 1,580 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

(1) IFRS第5号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)の表示要件に従い、動物用医薬品事業は廃止事業に分類される。その結果、動物用医薬品事業の純利益は、2015年度まで「交換するために保留している動物用医薬品事業による純利益」の連結損益計算書の単一項目として別途報告される。取引が完了するまで、動物用医薬品はグループの事業セグメントとして残存する

(2) IFRS第5号に従い、連結損益計算書の単一項目で別途報告される動物用医薬品事業を含む

(3) 動物用医薬品事業を含む総計

付録3: 事業純利益から当社株主に帰属する純利益への調整

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 4 四半期 ⁽¹⁾	2014 年度 第 4 四半期 ⁽¹⁾	前年度比
事業純利益	1,709	1,828	(6.5%)
無形固定資産の償却 ⁽²⁾	(695)	(513)	
無形固定資産の減損	(533)	135	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(108)	(126)	
事業再編費用	(359)	(108)	
その他の損益および訴訟費用	-	-	
米国ブランド処方薬料に関連する追加年度経費 ⁽³⁾	-	-	
上記項目の税効果:	602	273	
無形固定資産の償却	257	53	
無形固定資産の減損	175	(57)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	46	235	
その他の損益および訴訟費用	-	-	
事業再編費用	124	42	
その他の税目	-	-	
上記項目中、非支配株主に帰属する利益	20	3	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(59)	(80)	
動物用医薬品項目 ⁽⁴⁾	(243)	(73)	
当社株主に帰属する純利益	334	1,339	(75.1%)
連結 1 株当たり利益 ⁽⁵⁾ (単位:ユーロ)	0.26	1.02	

(1) 動物用医薬品事業は、IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、別途報告される

(2) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費として、2015 年度第 4 四半期は 4 億 2,300 万ユーロ、前年同期は 4 億 5,600 万ユーロを含む

(3) 負債認識の時期を変更し、2014 年の 1 回限りの「二重」経費を発生させた 2014 年 7 月に公布された最終 IRS 規則以降の 2013 年度売上高に関連する年間経費

(4) 以下の項目が含まれる:IFRS 第 5 号の適用開始日に発効する有形固定資産の減価償却および減損の中止の影響、IFRS 第 5 号の適用開始日までの無形固定資産の償却および減損の影響、売却の結果として生じる費用、それらの項目の税効果

(5) 2015 年度第 4 四半期の 13 億 490 万株、前年同期の 13 億 1,580 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

(単位:100万ユーロ)	2015年度 通年 ⁽¹⁾	2014年度 通年 ⁽¹⁾	前年度比
事業純利益	7,371	6,847	7.7%
無形固定資産の償却 ⁽²⁾	(2,137)	(2,081)	
無形固定資産の減損	(767)	31	
偶発対価債務の公正価値での再評価	53	(303)	
事業再編費用	(795)	(404)	
その他の損益および訴訟費用 ⁽³⁾	-	35	
米国ブランド処方薬料に関連する追加年度経費 ⁽⁴⁾	-	(116)	
上記項目の税効果:	1,331	928	
無形固定資産の償却	757	564	
無形固定資産の減損	262	(18)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	39	254	
その他の損益および訴訟費用	-	(13)	
事業再編費用	273	141	
その他の税目	(111)	(110)	
上記項目中、非支配株主に帰属する利益	25	7	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(191)	(198)	
動物用医薬品項目 ⁽⁵⁾	(492)	(246)	
当社株主に帰属する純利益	4,287	4,390	(2.3%)
連結1株当たり利益⁽⁶⁾(単位:ユーロ)	3.28	3.34	

(1) 動物用医薬品事業は、IFRS第5号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、別途報告される

(2) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2015年度通年は17億7,000万ユーロ、前年同期は19億6,000万ユーロとなった

(3) 業績には、Alnylam社持分の初日利益が表示されている

(4) 負債認識の時期を変更し、2014年の1回限りの「二重」経費につながる2014年7月に公布された最終IRS規則以降の2013年度売上高に関連する年間経費

(5) 以下の項目が含まれる:IFRS第5号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)の適用開始に伴う有形固定資産の減価償却および減損の中止の影響、IFRS第5号の適用までの無形固定資産の償却および減損の影響、売却の結果として生じる費用、それらの項目の税効果

(6) 2015年度通年の13億620万株、前年度通年の13億1,580万株という期中平均発行済み株式数に基づく

付録 4: 連結損益計算書

(単位: 100 万ユーロ)	2015 年度 第 4 四半期 ⁽¹⁾	2014 年度 第 4 四半期 ⁽¹⁾	2015 年度 通年 ⁽¹⁾	2014 年度 通年 ⁽¹⁾
純売上高	8,719	8,565	34,542	31,694
その他収益	99	87	319	305
売上原価	(2,865)	(2,819)	(10,919)	(10,230)
売上総利益	5,953	5,833	23,942	21,769
研究開発費	(1,364)	(1,304)	(5,082)	(4,667)
販売費および一般管理費	(2,482)	(2,288)	(9,382)	(8,425)
その他の当期営業収益	145	160	254	301
その他の当期営業費用	(121)	(66)	(462)	(157)
無形固定資産の償却	(695)	(513)	(2,137)	(2,081)
無形固定資産の減損	(533)	135	(767)	31
偶発対価債務の公正価値での再評価	(108)	(126)	53	(303)
事業再編費用	(359)	(109)	(795)	(404)
営業利益	436	1,722	5,624	6,064
財務費用	(172)	(157)	(559)	(598)
財務収益	99	20	178	192
関連会社および合弁会社持分利益を除く税引前利益	363	1,585	5,243	5,658
法人税	218	(182)	(709)	(1,214)
関連会社および合弁会社持分利益	(28)	(16)	(22)	(52)
交換するために保留している動物用医薬品事業を除く純利益	553	1,387	4,512	4,392
交換するために保留している動物用医薬品事業による純利益	(200)	(21)	(124)	117
純利益	353	1,366	4,388	4,509
非支配株主に帰属する純利益	19	27	101	119
当社株主に帰属する純利益	334	1,339	4,287	4,390
期中平均発行済み株式数(単位: 100 万株)	1,304.9	1,315.8	1,306.2	1,315.8
交換するために保留している動物用医薬品事業を除く 1 株当たり純利益(単位: ユーロ)	0.41	1.03	3.38	3.25
1 株当たり純利益(単位: ユーロ)	0.26	1.02	3.28	3.34

(1) IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、連結損益計算書の単一項目として別途報告される動物用医薬品事業を含む

付録5:純負債の変動

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 通年	2014 年度 通年
事業純利益	7,371	6,847
有形固定資産およびソフトウェアの減価償却、償却、および減損	1,333	1,230
非流動資産の純売却損益(税控除後)	(137)	(205)
その他の非現金項目	(19)	(389)
運転資本変動前の営業キャッシュフロー⁽¹⁾	8,548	7,483
運転資本変動 ⁽¹⁾	1,048	988
有形固定資産およびソフトウェアの取得	(1,464)	(1,223)
フリーキャッシュフロー⁽¹⁾	8,132	7,248
ソフトウェアを除く無形固定資産の取得	(1,559)	(334)
投資株式の取得(引受債務込み) ⁽¹⁾	(365)	(2,292)
支払い済みの事業再編費用	(682)	(774)
有形固定資産、無形固定資産、およびその他の非流動資産の処分益(税控除後)	208	252
サノフィ株式の発行	573	680
当社株主に支払った配当	(3,694)	(3,676)
自社株買い戻し	(1,784)	(1,801)
自己株式の処分(税控除後)	1	1
配当を含む非支配株主との取引	(25)	(8)
為替変動の影響	(768)	(525)
その他項目	(120)	(101)
純負債の変動	(83)	(1,128)

(1) 事業再編費用を除く

付録 6: 簡易連結貸借対照表

資産の部 (単位:100 万ユーロ)	2015 年 12 月 31 日 現在	2014 年 12 月 31 日 現在	負債・資本の部 (単位:100 万ユーロ)	2015 年 12 月 31 日 現在	2014 年 12 月 31 日 現在
			当社株主に帰属する持分	58,049	56,120
			非支配株主に帰属する持分	161	148
			資本合計	58,210	56,268
有形固定資産	9,943	10,396	長期債務	13,118	13,276
無形資産(営業権を含む)	51,583	53,740	合併や非支配持分に関連した固定負債	1,121	1,133
非流動金融資産、関連会社株式、繰延税金資産	10,115	9,819	引当金およびその他の固定負債	9,169	9,578
			繰延税金	2,895	4,105
固定資産	71,641	73,955	固定負債	26,303	28,092
			買掛金およびその他の流動負債	13,259	11,363
在庫額、売掛金、およびその他の流動資産	15,780	16,086	合併や非支配持分に関連した流動負債	130	131
現金および現金同等物	9,148	7,341	短期借入金および 1 年以内返済長期負債	3,436	1,538
流動資産	24,928	23,427	流動負債	16,825	13,032
売却または交換するために保留している資産	5,752	10	売却または交換するために保留している資産に関連する負債	983	-
資産合計	102,321	97,392	負債・資本合計	102,321	97,392

付録 7: 2016 年の為替感度

2016 年の 1 株当たり事業純利益の為替感度

通貨	変動	1 株当たり事業純利益の 為替感度
米ドル	-0.05 ドル/ユーロ	+0.13 ユーロ
日本円	+5 円/ユーロ	-0.02 ユーロ
中国元	+0.2 元/ユーロ	-0.02 ユーロ
ブラジル・リアル	+0.4 レアル/ユーロ	-0.01 ユーロ
ロシア・ルーブル	+10 ルーブル/ユーロ	-0.04 ユーロ

2015 年度第 4 四半期および 2015 年度通年の通貨変動リスク

通貨	2015 年度第 4 四半期	2015 年度通年
米ドル	36.6%	37.1%
ユーロ	23.3%	22.8%
中国元	5.7%	5.6%
日本円	5.3%	5.3%
ブラジル・リアル	2.3%	2.8%
英ポンド	2.1%	2.1%
カナダ・ドル	1.4%	1.5%
ロシア・ルーブル	1.8%	1.6%
オーストラリア・ドル	1.4%	1.4%
メキシコ・ペソ	2.7%	1.7%
その他	17.4%	18.1%

平均為替レート

	2014 年度 第 4 四半期	2015 年度 第 4 四半期	前年度比
ユーロ/ドル	1.25	1.09	-12.8%
ユーロ/円	142.98	132.93	-7.0%
ユーロ/元	7.68	7.00	-8.9%
ユーロ/ルーブル	59.93	72.37	+20.8%

付録 8: 研究開発パイプライン

申請中

N	<p>リキシセナチド GLP-1 受容体作動薬 2 型糖尿病、米国</p>	<p>Dengvaxia^{®(1)} 軽度から重度までの デング熱に対するワクチン</p>
N	<p>LixiLan リキシセナチド + インスリン グラルギン 固定比率合剤/2 型糖尿病、米国</p>	<p>PR5i DTP-HepB-Polio-Hib (ジフテリア・破傷風・百日咳、 B 型肝炎、ポリオ、ヒブ) 小児用 6 種混合ワクチン、米国、EU</p>
N	<p>sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 関節リウマチ、米国</p>	<p>VaxiGrip[®] QIV IM 4 価不活化 インフルエンザワクチン (3 歳以上)</p>

第 III 相

<p>LixiLan リキシセナチド + インスリン グラルギン 固定比率合剤/2 型糖尿病、EU</p>	N	<p>patisiran (ALN-TTR02) TTR 標的 siRNA 阻害剤 家族性アミロイドポリニューロパチー</p>	<p>クロストリジウム・ディフィシル トキシイドワクチン</p>	
N	<p>SAR342434 インスリンリスプロ 1 型・2 型糖尿病</p>	N	<p>revusiran (ALN-TTRsc) TTR 標的 siRNA 阻害剤 家族性アミロイド心筋症</p>	<p>VaxiGrip[®] QIV IM 4 価不活化 インフルエンザワクチン (6~35 カ月)</p>
N	<p>SAR439954 (sotagliflozin) 経口 SGLT-1 および SGLT-2 阻害剤 1 型糖尿病</p>	<p>ジェブタナ[®] (一般名: カバジタキセル) 転移性前立腺がん (一次療法)</p>	<p>小児用 5 種混合ワクチン DTP-Polio-Hib (ジフテリア・破傷風・百日咳、ポリオ、ヒブ) 日本</p>	
<p>sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 関節リウマチ、EU</p>				
N	<p>dupilumab 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 アトピー性皮膚炎、喘息</p>			

N: 新規分子化合物

(1) ブラジル、メキシコ、フィリピンでは 2015 年度第 4 四半期、エルサルバドルでは 2016 年度第 1 四半期に承認

第 II 相

<p>dupilumab 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 鼻ポリープ 好酸球性食道炎</p>	N	<p>isatuximab 抗 CD38 モノクローナル抗体 多発性骨髄腫</p>	<p>Men Quad TT 第 2 世代の髄膜炎菌 ACYW 結合型ワクチン</p>
<p>SAR156597 IL4/IL13 二重特異性モノクローナル抗体 特発性肺線維症</p>	N	<p>GZ402671 経口グルコシルセラミド合成酵素阻害剤 ファブリー病</p>	<p>狂犬病 VRVg 精製ペロ細胞狂犬病ワクチン</p>
<p>SAR439954 (sotagliflozin) 経口 SGLT-1 および SGLT-2 阻害剤 2 型糖尿病</p>	N	<p>olipudase alfa rhASM ニーマンピック病 B 型</p>	<p>結核 遺伝子組換えサブユニットワクチン</p>
<p>SAR439977 (efpeglenatide) 長時間作用型 GLP-1 受容体作動薬 2 型糖尿病</p>	N	<p>併用療法 ferroquine / OZ439 抗マラリア薬</p>	<p>Fluzone[®] QIV HD 4 価不活化 インフルエンザワクチン—高用量</p>
<p>sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 ブドウ膜炎</p>			

第 I 相

<p>GZ402668 GLD52 (抗 CD52 モノクローナル抗体) 再発性多発性硬化症</p>	N	<p>SAR566658 メイタンシン搭載抗 CA6 モノクローナル抗体 固形がん</p>	<p>SAR439152 ミオシン阻害剤 肥大性心筋症</p>
<p>SAR113244 抗 CXCR5 モノクローナル抗体 全身性エリテマトーデス (SLE)</p>	N	<p>SAR408701 抗 CEACAM5 ADC 固形がん</p>	<p>SAR407899 rho キナーゼ 微小血管性狭心症</p>
<p>GZ389988 TRKA 拮抗剤 変形性関節炎</p>	N	<p>SAR439684 PD-1 阻害剤 がん</p>	<p>SAR422459 ABCA4 遺伝子療法 シユタルガルト病</p>
<p>SAR425899 GLP-1R/GCGR デュアル作動薬 2 型糖尿病</p>	N	<p>SAR428926 LAMP-1 阻害剤 がん</p>	<p>UshStat[®] ミオシン 7A 遺伝子療法 アッシュャー症候群 1B</p>
<p>SAR438335 GLP-1R/GIPR デュアル作動薬 2 型糖尿病</p>	N	<p>GZ402666 neo GAA ボンベ病</p>	<p>SAR366234 EP2 受容体作動薬 眼圧亢進</p>
<p>SAR438544 安定化グルカゴンアナログ 糖尿病</p>	N	<p>SAR339375 抗 miR21 RNA アルポート症候群</p>	<p>肺炎レンサ球菌 髄膜炎・肺炎ワクチン</p>
<p>SAR440067 (LAPS インスリン 115) 長時間持続型インスリンアナログ 2 型糖尿病</p>	N	<p>fitusiran (ALN-AT3) アンチトロンビン標的 siRNA 阻害剤 血友病</p>	<p>単純ヘルペスウイルス 2 型 HSV-2 ワクチン</p>
	N	<p>SAR228810 抗プロトフィブリル AB モノクローナル抗体 アルツハイマー病</p>	

付録 9: 見込まれる研究開発マイルストーン

製品	イベント	時期
Dengvaxia®	流行国での規制当局の決定(見込み)	2016 年度
LixiLan	2 型糖尿病に関する EU での薬事承認申請(見込み)	2016 年度 第 1 四半期
dupilumab	アトピー性皮膚炎における第 III 相 SOLO 1 および SOLO 2 試験の重要な結果(見込み)	2016 年度 第 1 四半期
PR5i ワクチン(ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、ポリオ、ヒブ)	EU での薬事承認申請(見込み)	2016 年度 第 1 四半期
Men Quad TT	第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
インスリン リスプロ	糖尿病における第 III 相 SORELLA 試験の重要な結果(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
sarilumab	関節リウマチにおける第 III 相 MONARCH 試験の重要な結果(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
dupilumab	アトピー性皮膚炎における第 III 相 CHRONOS 試験の中間結果(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
NeoGAA (GZ402666)	ポンペ病における第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
olipudase alfa	ニーマンピック病 B 型における第 II/III 相ピボタル試験の開始(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
リキシセナチド	2 型糖尿病に関する米国の規制当局の決定(見込み)	2016 年度 第 3 四半期
LixiLan	2 型糖尿病に関する米国の規制当局の決定(見込み)	2016 年度 第 3 四半期
sarilumab	関節リウマチに関する EU での薬事承認申請(見込み)	2016 年度 第 3 四半期
dupilumab	アトピー性皮膚炎に関する米国での薬事承認申請(見込み)	2016 年度 第 3 四半期
fitusiran	血友病における第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 3 四半期
Praluent®	ODYSSEY OUTCOMES 第 2 回中間解析 ⁽¹⁾ の結果(見込み)	2016 年度 下半期
sarilumab	関節リウマチに関する米国の規制当局の決定(見込み)	2016 年度 第 4 四半期
dupilumab	鼻ポリープにおける第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 4 四半期
VaxiGrip® QIV IM(3 歳以上)	EU の規制当局の決定(見込み)	2016 年度 第 4 四半期
sotagliflozin	2 型糖尿病における第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 4 四半期
efpeglenatide	2 型糖尿病における第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 4 四半期
isatuximab	多発性骨髄腫における第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 4 四半期

(1) イベントの約 50%が発生した時点で無益性の中間解析を行い、2016 年下半期にイベントの約 75%が発生した時点で無益性および圧倒的有効性の第 2 回中間解析を行う

付録 10:GAAP(一般会計原則)と異なる財務指標の定義

総計

サノフィのコメントは、「総計」という表現を使用して、損益計算書の各項目に動物用医薬品事業を含んでいます。

グループ売上高総計(為替レート変動の影響を除く)

「グループ売上高総計(為替レート変動の影響を除く)」での変化に言及する場合は、為替レート変動の影響が排除されていることを意味します。

為替レートの影響は、前期に使用された為替レートで当期の売上高総計を再計算することによって、排除されます。

2015 年度第 4 四半期および 2015 年度通年の純売上高からグループ売上高総計(為替レート変動の影響を除く)への調整

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 4 四半期	2015 年度 通年
純売上高	8,719	34,542
動物用医薬品純売上高	559	2,515
グループ売上高総計	9,278	37,057
為替レートの影響	-349	-2,549
グループ売上高総計(為替レート変動の影響を除く)	8,929	34,508

事業純利益

サノフィは、GAAP(一般会計原則)と異なる主要指標を発表します。この「事業純利益」という指標は「特別項目を除いた調整後純利益」を置き換えるものです。

事業純利益は、当社株主に帰属する純利益から以下の項目を除外したものと定義されます。

- 無形固定資産の償却
- 無形固定資産の減損
- 合併に関連する偶発対価債務の公正価値での再評価
- 買収に関連するその他の影響(関連会社に対する買収の影響など)
- 事業再編費用⁽¹⁾
- その他の損益(非流動資産の売却損益⁽¹⁾を含む)
- 訴訟に関わる費用または引当金⁽¹⁾
- 上記の各項目に対する税効果と主要な税務訴訟の影響
- 当社株主に支払った配当に対する課税(3%)
- 事業純利益のうちの動物用医薬品項目⁽²⁾
- 上記項目に関連する非支配株主に帰属する純利益

(1) 連結損益計算書の Note B.20.で定義されているとおり、再編費用と売却・訴訟に関わる損益の勘定科目で報告されます。

(2) IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)の適用開始に伴う有形固定資産の減価償却および減損、IFRS 第 5 号の適用までの無形固定資産の償却および減損の影響、売却の結果として増加する費用、これらの項目の税効果

サノフィについて

サノフィ・グループは、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行うグローバルヘルスケアリーダーです。糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、ジェンザイムを中核としています。パリ(EURONEXT: SAN)およびニューヨーク(NYSE: SNY)に上場しています。

サノフィの今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは大幅に異なる可能性があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関するFDAやEMAなどの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、ならびにサノフィの2014年12月31日終了事業年度フォーム20-F年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成したSECおよびAMFに対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。